

第2回呉市移動円滑化基本構想検討協議会 摘録

- 1 日時 令和4年7月13日（水）10時～11時15分
- 2 場所 呉市役所本庁舎 2階防災会議室
- 3 概要・骨子

10:00 【開会】	
【江田副市長 挨拶】	<p>皆様、おはようございます。本日はお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>呉市移動円滑化基本構想は2001年に作成しており、約20年経過していますが、この間に社会情勢や、根拠法律が大きく変化しており、このような中、呉市のバリアフリー化をより一層進めるためにこの度、見直しを行うこととしています。</p> <p>前回の協議会については、昨年の秋に開催しており、時間が空いていますが、その間には、構成員の皆様方にも参加していただき、JR吉浦駅の周辺において、「まち歩き」を行い、駅構内や移動経路について、不便な箇所等について、確認や共有をさせていただきました。</p> <p>また、関係団体を通じて、アンケート調査も実施させていただき、バリアフリー化が必要な施設や、不便に感じていること等について意見をお伺いしており、その結果についても本日御報告させていただきます。</p> <p>以上を踏まえまして、課題や今後の対策について、方針や具体的な取組等を基本計画の素案として取りまとめさせていただきます。</p> <p>従来の基本構想については、主にJR駅の周辺についてのバリアフリー化を中心にまとめられたものでございますが、法律の枠組も変わりまして、より広く内容を抽出し、地域全体に渡る方針ということで変更させていただく予定としております。</p> <p>内容につきましても、従来の物理的なバリアフリー化の充実のみでなく、先の6月議会で制定されました、障害の有無に関わらず、十分な情報取得やコミュニケーションが円滑に行えるような環境整備を組み立てることを目的とした呉市情報コミュニケーション条例や、市民の</p>

	<p>方にバリアフリーについて理解をしていただき、思いやりや配慮の気持ちを持っていただけるように、「心のバリアフリー」についても盛り込んでおります。</p> <p>本日は限られた時間ではありますが、皆様には忌憚のない御意見を頂戴できればと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
【新構成員紹介】	資料1 呉市移動円滑化基本構想検討協議会構成員名簿
【オブザーバー紹介】	国土交通省中国運輸局交通政策部バリアフリー推進課長
10:10 【議題及び今後のスケジュール説明】	<p>議題</p> <p>(1) 呉市バリアフリー基本計画（素案）について</p> <p>その他</p> <p>(1) 今後のスケジュールについて</p>
10:30 【意見交換】	<p>〔神田座長〕</p> <p>計画内容が概要版でもかなりの量になるが、第1編では計画の位置付けや呉市の現在の状況を、第2編ではハード整備の方針やソフト面での「心のバリアフリー」の方針を、第3編では重点整備地区の具体的な内容について記載してある。</p> <p>内容の確認や、分かりにくい所、計画に記載してもらいたい事など、御意見をいただきたい。</p> <p>○ 計画の内容についてはよく整理されている。事業の実施時期が短期と長期に区分されているが、長期については夢物語にならないよう実施されていくことを望むが、短期については今すぐにでも実施してもらいたい。実施にあたっては、もっと具体的な計画や、予算、役割分担について整理をして進めてもらいたい。</p> <p>⇒〔神田座長〕</p> <p>基本計画から一步踏み込んで、実行段階に移る際の予算や役割分担についての意見ですが、事務局如何か。</p>

⇒〔事務局〕

事業については短期と長期で位置付けしているが、各事業者の予算面等の問題もあるので、連携しながら早期に事業着手可能となるよう進めていきたい。

⇒〔神田座長〕

道路管理者だけでも、国、県、市等、様々であるので、各管理者が連携を図りながら、事業を進めてもらいたい。

○ 今回の計画はハード面とソフト面について記載しているが、「心のバリアフリー」があまり認知されていないと示されている。私もヘルプマーク等は知っていたが、オレンジカードについては知らなかった。

私達はハード面の整備は難しいが、子育て世代が集まる施設であるので、ソフト面の周知については出来ると感じる。以前、親子サークルでベビーカーでもバスに乗れる取材を行っており、「YouTube」にも掲載している。この様な取組もPRしていきたいと話をしており、ソフト面について、協力していきたいと考える。

⇒〔神田座長〕

情報発信については、誰が行うかや、動画等、色々な方法がある。上手に色々な機関と連携して行っていければと考える。

○ ベビーカーでもバスに乗れることはしっかりと周知することが大事である。「心のバリアフリー」についてしっかり広報してもらえればと思う。

バスの関係では、去年から情報発信として「くるけん」というアプリを使用して、ノンステップバスの案内等を行っている。現在は定刻での情報であるが、今年中にはバスの遅れている状況等、リアルタイムでの情報発信を行いたい。

⇒〔神田座長〕

今回の計画は期間が10年間となっており、情報提供が高度化される中、柔軟に対応できるようになればよいと思う。

○ 今年の4月に奈良県で視覚障害者の女性が踏切内で、電車に接触し亡くなる事故があった。その後、踏切内に誘導表示が設置されているが、全国では少ないので、呉市でも接触事故を防ぐために、踏切内に誘導表示の設置を実施していけば、障害のある方も安全に移動できると思う。

⇒〔神田座長〕

この度の事故はメディアで全国的にフォーカスされ、視覚障害者の誘導について話題となった。事務局如何か。

⇒〔事務局〕

先般の事故を受け、今年6月に国において「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」が改定され、踏切道での視覚障害者の誘導について明確に規定されたところである。

本計画においても、道路の整備の方針において、踏切道内の誘導表示の設置について記載している。また、これに併せてエスコートゾーンについても検討していきたい。

⇒〔神田座長〕

エスコートゾーンについては、第1回協議会でも意見をいただき、今回の計画にも盛り込んでいる状態である。

設置については、改築や改良のタイミングに合わせながら、目の不自由な方が多い箇所を優先的に進めてもらいたい、道路管理者として如何か。

○ JR呉駅・呉港周辺地区の道路特定事業の内、2路線が踏切を含んでいる。今後、改定されたガイドラインに従って、踏切内に設置する誘導表示の材料等が示されることになっており、それに基づいて早期に対応をしたい。

○ 視覚障害者誘導用ブロックについて、せっかく整備をしてもらっているが、使いにくいとよく聞く。設置を行う前に、当事者に相談していただければと思う。

⇒〔神田座長〕

設計段階ではガイドライン等に即しているとは思いますが、実際に使用しやすいかどうかは別問題である。整備の段階でのことになるが、道路管理者として如何か。

- 視覚障害者誘導用ブロックについては、ガイドラインに基づき整備を行っているが、過去には、道路の美装化の観点からインターロッキングブロックの中に黄色でない視覚障害者誘導用ブロックを設置し、周辺との輝度比が明確でないものが整備されていたこともある。色の違いは明確にしないと弱視の方には不便となることから、最近では、色の違いを明確にしている。

また、過去にはブロックの向きにより、誘導先が道路の真ん中という事例もあり、使っていただく方のニーズを把握せず整備をしていた頃もあり、これまで色々御指摘をいただいている。

実際に使用する方の意見が重要であることは、過去の失敗からも感じているので、設置の際には意見を聞かせてもらいたい。

⇒〔神田座長〕

人や、場所によって使われ方も変化するので、整備する前に意見を聞くことは大事である。特に重点的な場所については、使われる方の意見を事前に考える必要がある。

- 視覚障害者誘導用ブロックの設置については、これまでいただいた意見を踏まえ、十分に注意しないとイケないと改めて認識した。

今回の計画では、道路特定事業に携わる事業はなく、特に意見はないが、道路管理者として、お手伝いできることがあれば協力していきたい。

- 横断歩道上のエスコートゾーンについては、昨年も1箇所整備を行っているが、設置の際には事前に関係団体との調整をしっかりとっている。

エスコートゾーンは常時、車に踏まれている状態であり、耐久性に難点がある。また、予算の面でも問題

があるが、今後は、関係団体との調整を進めながら、新規のエスコートゾーンを増やしていく考えである。

⇒〔神田座長〕

全てを一散期に整備することは難しいが、優先順位の高い順に予算の確保をしながら、整備を行っていただくという心強い意見である。

○ 吉浦駅について具体的に意見をもらっているところであり、これから検討を行っていききたい。

コロナ禍で、乗客数も1割から2割は少ない状態で、非常に苦しい状況であるが、利用のしやすさやサービス等についてしっかりと努めていきたい。

資料はよくまとめてあるが、重点整備地区の3地区に実施すべき事業として教育啓発特定事業が記載してある。記載内容が同一で、重点整備地区に限った内容ではないので、共通的に実施する事業として、別に記載した方がよいのではと考える。

⇒〔神田座長〕

御指摘のとおり、市域全体での捉え方になると思うが、事務局如何か。

⇒〔事務局〕

教育啓発特定事業については、重点整備地区に限った内容ではないので、記載方法について分かりやすく修正したい。

○ 教育啓発特定事業については、6月22日に本省でガイドラインを策定し、公表している。ガイドラインを参考に今後も継続の課題として取り組んでもらいたい。

計画に特定事業を示しているが、各特定事業については、事業者が速やかに特定事業計画書を作成し、これに基づいて事業を実施することがバリアフリー法で義務付けられている。今回の計画についても、この事業スキームについて記載すると、呉市と各事業者間での円滑な調整が図られると考える。また、特定事業計画は作成するだけでなく、その後の進行管理や事後

	<p>評価も非常に大切であり，これによりハード・ソフト面での継続したバリアフリー化の推進に繋がると考える。</p> <p>マスタープラン（促進方針）と基本構想の作成については，国の基本方針において目標設定がある。中国ブロックにおいても整備目標に対する作成目標を掲げており，昨年度から管内の市町にプロモート活動を行っている。</p> <p>呉市は従前の基本構想を中国ブロックで最初に作成し，この度も率先してマスタープランの作成と基本構想の見直しを同時に行ってもらい，大変感謝している。この度のマスタープランの作成は，中国ブロックでは宇部市（山口県），岡山市（岡山県）に次いで3番目になるが，基本構想の見直しと同時にマスタープランの新規作成というパターンは，中国ブロック初となり，プロモート活動においても非常にありがたい話である。</p> <p>今後，第3回協議会を経て，計画が作成され，呉市のバリアフリー化がより進展することを期待する。</p> <p>⇒〔神田座長〕</p> <p>何点かコメントをいただいたが，事務局如何か。</p> <p>⇒〔事務局〕</p> <p>特定事業への位置付け後の具体的な流れについては，記載されていないので，特定事業計画の作成等の今後の流れについて，計画に記載したい。</p>
<p>11:05 【欠席構成員意見代読】</p>	<p>〔事務局〕</p> <p>バスを利用する際，バスと停留所が離れた状態で停車する場合があります，高齢者等は一跨ぎで乗降することが困難であったり，間が広い場合には歩道とバスの上に段差が生じた状態となり，非常に負担になる。適切な位置に停車出来るよう運転技術の向上等に努めてもらいたい。</p> <p>J R吉浦駅周辺地区が新たに重点整備地区となり，今後のバリアフリー化に期待しているが，道路特定事業の内，国道31号の事業が全て長期に位置付けてあ</p>

る。メイン経路であることから、少しでも短期事業としての実施を望む。

- バス停からバスに乗降可能な位置に停車することを正着と言い、当然乗務員教育も行っていくが、車道に他の車両が停車していることで、バスが正着出来ない場合や、バス停の形状により、正着出来ない場合もある。特に切り込みがあるようなバス停の場合、ハンドル操作の面から正着が難しい場合もある。

広島市内では、切り込みを無くし、ストレート化することで正着性を高めている事例もある。今後の整備については、歩行者空間の確保も含めて、バス停のストレート化も検討してもらえればと思う。

⇒〔神田座長〕

運転技術のみではなく、バス停の形状など、今後は総合的に考えていければと思う。国道31号の事業について、道路管理者如何か。

- 御期待いただいているということで、検討を進めていきたいが、国道31号については道路特定事業として4項目あり、関係機関との調整や整備内容について今後詰めていくことになる。今の段階では、不確定要素も多く、調整も出てくることから長期に位置付けているが、手戻りがない形で実施していきたい。

4項目の中では、「障害物の整理による歩道の拡幅」が一番始めになると思う。昨年のまち歩きで、歩道内の植樹について意見が出たのだと思うが、植樹については街の潤いであったり、暑い時期に日陰をつくるといったメリットもあるが、根が張って路面が歩きにくい状況になるデメリットもある。呉市で関係機関と調整してもらい、合意形成を図ってもらえれば、対応としても短期に前倒しが可能となる。今後、呉市と調整し、前倒しについて検討していく。

⇒〔神田座長〕

短期事業で実施したいが、交通量が多い国道31号で、調整事項も多いことから、現時点では長期に位置付けてあると解釈する。

	<p>以上が、本日予定されていた議題等だが、今後はスケジュールで説明したとおり、本日の議論を踏まえて修正したものを呉市バリアフリー基本計画（素案）として、パブリックコメントを実施する予定である。</p> <p>本日の議論により、若干の修正すべき箇所があると思うが、パブリックコメント前の修正確認については、座長一任で対応したいと思うが、よろしいか。</p> <p>（異議無し）</p> <p>それでは、修正については、私の方で確認し、その後修正素案によりパブリックコメントを実施していく。</p>
<p>11:15 【部長挨拶】</p>	<p>都市部長の荻野でございます。</p> <p>閉会に当たりまして、一言、御挨拶申し上げます。</p> <p>本日は、お忙しいところ、本協議会に御出席いただくとともに、貴重な御意見を賜りまして、ありがとうございます。</p> <p>この度、作成いたします「呉市バリアフリー基本計画」は、新たに「促進方針」の作成と、御意見いただきました「心のバリアフリー」への取組を計画に位置付けることが、特徴であると考えております。</p> <p>この「促進方針」の作成によりまして、市民の皆様や、各事業者をはじめとした呉市全体のバリアフリー化に向けた機運の醸成と、具体的な事業計画となります「基本構想」へのステップアップを、また、ハード面における計画に加えまして、ソフト面となります「心のバリアフリー化」の充実を図ることによりまして、更なるバリアフリー化の進展が期待されるところでございます。</p> <p>本日、皆様方から頂戴いたしました貴重な御意見につきましては、私ども事務局でしっかりと受け止めまして、引き続き、計画の作成を進めて参りたいと考えております。本日は、誠にありがとうございました。</p>
<p>11:15 【閉会】</p>	